

# 7月豪雨の議会活動について



**平川** 被災住宅の取り組みについて問う。

**市長** 県と市が、連携を密にし、適切に維持管理を行うよう努めます。また被災された方に寄り添いながら住宅支援策についても、これまでの生活が取り戻せる様、全力で取り組みます。

**平川** 市内にある急傾斜地の点検はどのようになっているか。

**市長** 市内に急傾斜地崩壊危険区域は、15地区あり、管理は、県が行っています。この施設は、建設後50年を経過しており老朽化が進んでいます。県において平成25年3月に「広島県個別施設維持管理ガイドライン」を策

## 活動概要

月日	内容
7月12日(木)	議長、副議長が主な災害現場を視察
7月13日(金)	災害支援本部設置 市長へ申入書提出
7月18日(水)	災害対策本部へ情報提供(議会把握分)
8月1日(水)	議員2名派遣「見浪地区、前田地区浸水地区説明会」
8月7日(火)	議長、豪雨災害支援に係る御礼訪問 (JA呉・深田サルベージ・陸上自衛隊第13旅団)
8月8日(水)	議長、豪雨災害支援に係る御礼訪問 (廿日市市長・広島港湾・空港事務所所長)
8月10日(金)	議長、豪雨災害支援に係る御礼訪問 (市建設業協会・市社会福祉協議会・市管工事業協同組合)
8月23日(木)	議長陳情 関係する衆議院議員、参議院議員に災害に関する要望書を提出
10月12日(金)	市長へ今後の災害対応依頼 (議長・副議長・議会運営委員長・議会運営副委員長)

江田島市議会は、7月6日江田島市災害対策本部設置に伴い、本部の対応を支援するとともに、災害において迅速かつ適切な対応をはかるため、議会内に江田島市議会災害支援本部を設置しました。



▲能美町中町



▲江田島町長谷川



▲大柿町深江



▲沖美町木下川

## 答 全力で取り組み

### 平川 博之議員

定し、適切な維持管理を行ってまいります。最適な時期工法で修繕することにより、施設の長寿命化を図るものです。施設点検についても、5年1サイクルの定期点検・集中豪雨など必要に応じて緊急点検も行っています。今回の豪雨を受け、急傾斜施設を含む全ての点検も行いました。点検以外にも水路堆積物の除去、樹木伐採など施設の維持管理を行っています。今後も県と市が連携を密にし、適切な維持管理に努めます。

**平川** 被災住宅の取り組みで、今回の災害で被害を受けた住宅の現状は。

22棟、一部損傷108棟、床上浸水38棟、床下浸水81棟で合計257棟です。

**市長** 被災された方に対し、幅広い支援が必要と判断し、本市独自で3つの取り組みを実施しました。1つ目は、被災された方への市営住宅の無償提供です。災害直後に利用可能な市営住宅に順次入居していただきました。2つ目は、応急仮設住宅の取り組みです。これは、空き家や個人アパートを市が借り上げ応急仮設住宅として無償提供するものです。市内にある空き家活用により、被災者のニーズに添えていけると考えます。

3つ目は、「被災住宅修繕補助」です。土砂流入などによる一部損壊の方に対し、畳の張り替え・床・壁・窓などの修繕を対象としています。また、アパートの管理者なども対象です。

**平川** 被災住宅の取り組みで、今後どのような対策をとるのか。

**市長** 新たな取り組みで、市営住宅入居者を対象にNPO法人との連携で、家電の無償提供も予定しています。今後も住宅施策を通じ、これまでの生活が取り戻せるよう全力で取り組んでいく。

## 7月の豪雨災害等の取り組みは

## 行政視察来訪

### 東京都清瀬市議会

平成30年7月4日

清瀬市議会 清瀬自民クラブ7名が、「健康寿命日本一を目指す江田島市」についての視察に來られました。担当課から健康なまちづくりの取組等について説明し、意見交換を行いました。



### 宮城県議会

平成30年8月29日

宮城県議会 経済商工観光委員会8名が、「外国人市民支援の取組」についての視察に來られました。担当課から外国人市民の状況等について説明し、意見交換を行いました。



## 復旧に向けて

市の災害対策本部は8月14日に閉鎖し、続いて災害復旧対策本部を設置しました。議会としては、9月定例議会にて7月豪雨の復旧・今後の災害対策について6名の議員から一般質問がありました。今後も復旧に向け全力で取り組んでいきます。